

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（植木）

使用教科書：（詳説日本史（山川出版社） 詳説日本史図録（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して 多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や 年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	大項目B中項目(3) 中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈、説明、論述） 【知識及び技能】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとする。	・武家社会の変容 ・詳説 日本史（山川出版社） ・授業プリント ・問いと仮説を立てて、考察する。 ・一人1 台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。 中世の日本と世界における学習の経緯について、自身の学習を振り返り、調整しようとしている。	○	○	○	14
	大項目C中項目(1) 近世への転換と歴史的環境 【知識及び技能】村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとする。	・近世の幕開け ・詳説 日本史（山川出版社） ・授業プリント ・問いと仮説を立てて、考察する。 ・一人1 台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 【思考・判断・表現】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。 近世の日本と世界における学習の経緯について、自身の学習を振り返り、調整しようとしている。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	大項目C中項目(2) 歴史資料と近世の展望 【知識及び技能】近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】中世の京都を描いた絵画資料から得られる情報をもとに、中世社会の特色について主体的に課題を見出す。	・近世の展望 ・詳説 日本史（山川出版社） ・授業プリント ・問いと仮説を立てて、考察する。 ・一人1 台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 法令の内容を適切に読み取り、生類憐みの令が出された当時の社会の雰囲気について、文芸作品との関わりも踏まえて理解している。 【思考・判断・表現】 生類憐みの令が出された時期の諸政策や国際的な環境の変化をもとに、江戸時代の特徴を多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。 近世の日本と世界における学習の経緯について、自身の学習を振り返り、調整しようとしている。	○	○	○	8
	大項目C中項目(3) 近世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈、説明、論述） 【知識及び技能】法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	・幕藩体制の成立と展開 ・詳説 日本史（山川出版社） ・授業プリント ・問いと仮説を立てて、考察する。 ・一人1 台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 【思考・判断・表現】 戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。 近世の日本と世界における学習の経緯について、自身の学習を振り返り、調整しようとしている。	○	○	○	16
	期末考査			○	○		1

[illegible]